

いまよりの風

平成30年3月23日発行

学校通信 第43号

北海道今金高等養護学校

〒049-4304

瀬棚郡今金町字今金 454-1

TEL 0137-82-3121 FAX 0137-82-3092



輝く未来をこの子らの手に・・・これからも

北海道今金高等養護学校長 高 嶋 利次郎

今年度の卒業証書授与式は、低気圧に伴う悪天候のため、挙行予定日の3月2日（金）を順延し、3月5日（月）に外崎 秀人町長様、村瀬 廣今金町議会議長様をはじめ多数の御来賓の御臨席の下に第19回卒業証書授与式が盛大に挙行され、産業科7名、農業科7名、生活家庭科6名、計20名の卒業生が、思い出深い学舎を巣立っていきました。

今年の第19期卒業生は、平成28年度に行いました創立20周年記念事業を推進する上で生徒たちの中心となって活躍してくれました。生徒会長として、生徒会執行部として今まで経験したことのない新しい取組に取り組んでくれました。生徒会では、創立20周年記念式典の折りに列席者の方々に配付する「記念菓子 ショコラクッキー」のデザインや味の決定、「IMAKANE FACTORY」のロゴマークの作成など、その後の教育活動を方向付ける取組に率先して創意工夫した取組をしてくれました。

また、今年度からPTAと協力して立ち上げました「模擬株式会社 IMAKANE FACTORY」の代表生徒としてや、特徴ある学習活動の担い手として、他学年の模範となる活躍をしてくれました。

これも、御家庭、関係機関の皆様をはじめ、今金町の皆様の温かな御支援と御協力の賜であります。今年度から地域イベントの企画・運営・参加に積極的に関わり、今金町の皆様から町民の一人として、温かく受け入れていただき、声をかけていただいたり、現場実習でもお世話になったりするなど、我が子のように可愛がっていただいたり、御指導いただいたりしたことにより、生徒達は成長し社会人として巣立っていくことができました。心より感謝申し上げます。

そして、3月23日（金）には修了式を挙行了しました。1年生24名（3間口）、2年生32名（4間口）は、無事に1年間の学びを締めくくることができました。1年生にとっては、初めての高校生活、初めての学習、初めての現場実習、初めての商品開発、そして、初めて出会う仲間との寄宿舎生活と初物づくしの毎日でした。窯業科・農業科は北海道檜山北高等学校と、家庭総合科は北海道八雲高等学校総合ビジネス科の生徒と交流及び共同学習を行い、商品開発に取り組みました。また、町内の飲食店様の御協力を得て、新しい玉ねぎ料理が開発されました。盛り付けるお皿は、産業科、お品書きは、生活家庭科の和紙、玉ねぎは、農業科と、各学科の製品が使われています。これまでの生活では経験したことのない寄宿舎生活は、さぞかし慣れるまでに時間がかかったことでしょう。

2年生にとっては、後輩を迎えて先輩としてのお手本を示す立場になり、一つ一つの課題にチャレンジしながら課題をクリアして、先輩らしい姿を示すことができました。個別実習を通じて、卒業後の就労も現実的なものになり、より自分自身を見つめ直し、将来の進路を見定めるようになりました。この1年間は1・2年生にとっても、これまでにない大きな成長を見せてくれた年でした。

平成29年度の終わりに当たり、今年度の学校を振り返ってみますと、創立20周年記念事業をベースにした、全道初の取り組みである「模擬株式会社 IMAKANE FACTORY」の事業推進が大きな課題でしたが、御家庭、関係機関の皆様をはじめ、今金町の皆様の御理解と御協力の下、盛大かつ充実した内容で実施することができました。

そして、今金町、今金町商工会、JA 今金町、社会福祉法人光の里と本校が連携した就労支援と自立支援の取組は着々と進み、本校に対する道南圏の中学校の保護者・生徒の評価は大きく変わりつつあります。

また、お陰をもちまして、平成26年度から本校も協力して取り組んで参りました商工会事業と今金町山村活性化地域協議会の取り組みが、文部科学省・経済産業省が共催する「第7回キャリア教育推進連携表彰」の優秀賞を道内で初めて受賞しました。文部科学省のホームページには次のように紹介されています。

行政、商工会、農協、企業、福祉施設等と北海道今金高等養護学校やPTAとが連携してキャリア教育に取り組んでいる。生徒の就労、自立を支援する事業が推進されるだけでなく、地域住民の障がい者理解や障がい者が地域の一員として活躍する共生社会「ソーシャルタウン今金町」づくりを実践している。

さらに、公益社団法人日本教育会の第8回教育実践顕彰奨励賞を道内から選ばれた2校のうちの1校として受賞しました。この表彰は、模擬株式会社 IMAKANE FACTORY の取り組みが意欲的で顕著な成果を挙げているとして、次のような内容で受賞しました。

今金町と「特別支援学校卒業生に対する就労支援並びに自立支援に関する連携協定」を締結して、ワークキャリアアップとライフキャリアアップによる「地方創生と共生社会の担い手の育成」に努めている。特に、ワークキャリアアップでは、PTAと連携して模擬株式会社を設立し、職業学科の製造・販売・校外作業などを「会社の仕事」として、生徒のキャリアアップを推進している。

さらに喜ばしいことに、今年度の北海道教育実践表彰を職員が障がい者スポーツで、檜山管内教育実践表彰特別賞を生徒が全国障害者スポーツ大会での活躍により受賞することになりました。心より厚く御礼申し上げます。

これほどまでの生徒の成長と活躍は、今金高等養護学校の生徒の教育と就労に関わる様々な課題について、地域の皆様が町の課題として取り組んでくださったお陰であります。心より感謝申し上げますとともに、他の地域にはない充実した御支援に大変心強く思っております。

来年度は、さらに今金町の学校としての取組を加速させ、「輝く未来をこの子らの手に」を合い言葉に、「キャリアアップハイスクール」としての教育活動の一層の充実を図るとともに、地域との協働・地域貢献を推進して参ります。来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

卒業証書授与式

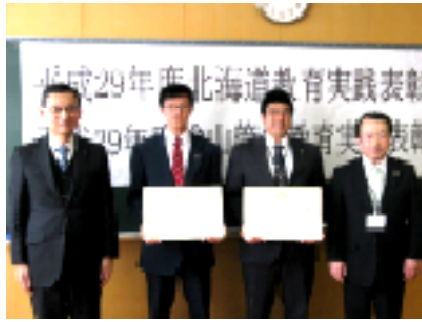
3月5日（月）に第19回卒業証書授与式を挙行了しました。産業科7名、農業科7名、生活家庭科6名の20名の卒業生が、高嶋利次郎学校長から一人一人卒業証書を受け取りました。涙を流す場面もありましたが、在校生は卒業生へ感謝や祝福の気持ちを伝え、卒業生は3年間の学校生活を振り返ることができました。4月からは社会人の仲間入りをします。ぜひ、在校生と同様に本校の卒業生を応援していただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



檜山管内教育実践表彰

2月28日（水）に北海道教育庁檜山教育局長河野秀平様が来校され、表彰伝達式が本校で行われました。北海道教育実践表彰教職員表彰で本校教諭が、檜山管内教育実践表彰特別賞では本校産業科2年の生徒が受賞しました。

この表彰は、学校の教育活動に意欲的に取り組み、優れた実践活動を行っている方を表彰するものです。特別賞は、全国・全道規模の文化発表・スポーツ大会等で優秀な成績をおさめた生徒に与えられる賞です。今回の受賞は、本校の障がい者スポーツに対する取組と、その活動の中で意欲的に取り組んでいる生徒の活動が評価されたことによります。今後もより一層、生徒が主体的になれるように取り組んでいきます。



今金町スポーツ表彰

3月13日（火）に今年度の今金町教育・文化・スポーツ表彰の表彰式が行われました。今年度はスポーツ部が全道高等養護学校サッカー大会で準優勝したことを皮切りに、全国障害者スポーツ大会や北海道障がい者スポーツ大会（夏季・冬季）、クロスカントリー競技大会でメダルを獲得し、合計10名、1団体がスポーツ賞、スポーツ奨励賞を受賞することができました。学校全体でいろいろな大会に参加し、そこで結果を残せることに自信と誇りをもって、今後も結果を残してもらいたいと思っています。受賞者の皆さん本当におめでとうございます！！



2学年販売実習

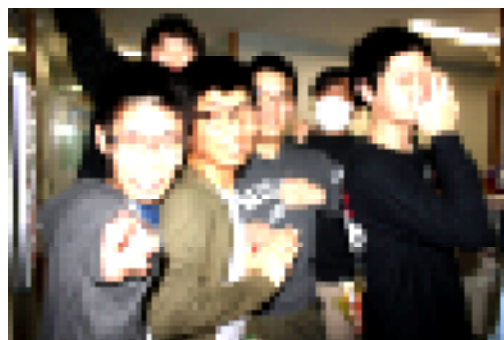
3月15日（木）に総合体育館と役場の2会場で2学年の販売実習を行いました。生徒達は、働く力を高めるため、そして、商品を購入してくださるお客様に喜んでいただいたりするためにこれまで一生懸命製品作りに取り組んできました。販売実習を終え、今までの努力の成果を実感できた生徒や、もっとできたことはないか反省している生徒など、それぞれが充実した表情で振り返ることができました。当日はあいにくの曇天でしたが、両会場ともたくさんの町民の皆様にご来場いただき、ありがとうございました。購入していただいた製品がお客様に御満足いただけましたら幸いです。次回は、5月に3年農業科の草花の販売をAコープ前にて予定しております。どうぞお越しください。



送別会

3月7日（水）に美利河寮（寄宿舎）の送別会を行いました。送別会では3年生が3年間の思い出を振り返って挨拶をし、合唱で「Believe」を見事に歌い上げ、とても感動的な雰囲気となりました。スライド上映では3年生の入学当時の写真が流れ、自分の変化に驚く生徒もいましたが、それも良い思い出だと笑顔で見っていました。

卒業生の20名のみなさん、寄宿舎で学んだことを生かし、健康に気をつけてがんばってください。卒業おめでとうございます！



転出者の挨拶

たかしま としじろう
高嶋 利次郎 校長（北海道函館聾学校）



平成26年度から4年間にわたり、地域の皆様とともに本校が進めた様々な取り組みが、一步一步成果ととして実を結びつつあることを実感する機会が増えてきました。これもひとえに地域の皆様のご厚情の賜物であります。心より厚くお礼申し上げます。新天地におきましても、微力ながら努めて参りたいと存じます。本当に大変お世話になりました！！これからも今金の応援団です。

いわき けんた
岩城 研太 教諭（北海道伊達高等養護学校）



生徒や保護者の方々から教えられたり、同僚からの支えを受けたりしながらの8年間でした。また、今金町の皆様にも実習先の御協力をはじめとして町内会でもお世話になりました。

転任地では皆様から教えていただいたことを忘れず、私が皆様にしていただいたことをできるように働いていきます。ありがとうございました。



かねがえ まこと
鐘ヶ江 真知 教諭（北海道札幌あいの里高等支援学校）

今金での7年間は、教員人生の基礎となる学びをたくさんさせていただきました。特に、熱い指導をしている同僚や、エネルギーにあふれている地域の方、そして一生懸命な生徒から影響を受け、「自分も変わりたい。」と思いながら努力してきました。

今後も、今金で頑張っている人がたくさんいるということを忘れず、生徒のために成長していきたいと思います。7年間お世話になりました。ありがとうございました。



わだ まさふみ
和田 雅史 寄宿舍指導員（北海道拓北養護学校）

私は4月から札幌市にある拓北養護学校へ転勤することになりました。今金で過ごした9年間でたくさんの生徒の皆さんと保護者の方々と出会い、楽しい思い出ができました。今金の地を離れるのは寂しいですが、皆さんの思い出を胸に、新天地でも頑張っていきたいと思います。皆さんも大変なこともあると思いますが、色々なことにチャレンジして充実した学校生活を送れるように頑張ってください。いつまでも応援しています。9年間、ありがとうございました。



せいの えみ
清野 恵美 寄宿舍指導員（北海道伊達高等養護学校）

4月から伊達高等養護学校に異動となりました。10年間、保護者の皆様、地域の皆様にご協力いただき、生徒達と楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

新天地でも、今金で学んだことを生かせるよう努力していきたいと思います。10年間、ありがとうございました。



せんば たくや
泉波 卓也 寄宿舍指導員（北海道紋別高等養護学校）

今金に赴任してから11年、多くの生徒に出会い、多くの方に支えられ、楽しく生活することができました。4月からは紋別市にある紋別高等養護学校に異動となりました。これまでは寄宿舍での勤務でしたが、次の赴任校からは教員として教壇に立つこととなりました。

仕事も生活も不安ばかりですが、初心を忘れず、何事にも挑戦して努力し続けていきたいと思います。これまでご支援、ご協力頂きありがとうございました。



はやしたに かおる
林 谷 和 織 期限付 養護教諭（深川市立音江小学校）

このたび、深川市立音江小学校へ異動となりました。5年前、右も左もわからない新米の私でしたが、保護者の皆様、地域の皆様に支えられ、生徒達と共に多くのことを学び成長することができました。校種は変わりますが、この学校で学んだことを生かし、次の学校でも頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。



たけはな けんた
竹 花 健 太 期限付 実習助手（北海道釧路養護学校）

このたび、今金高等養護学校を離れることとなりました。1年間と短い任期でしたが、いまようの生徒達と過ごし、たくさんの活動をする中で今までの人生で出来なかった多くの経験を積むことができました。ここを離れ、生徒達と別れるのはとても辛いことですが、生徒達が真っすぐ自分の将来に向かっていく姿を見て、自分自身もその姿に負けず頑張っていこうという気持ちになりました。これからもいまようの生徒達の頑張り、そして、成長を遠くから願っています。本当にありがとうございました。

4月の行事予定

次回の発行は4月上旬予定です♪

日 時	予 定
9日（月）	始業式・着任式
10日（火）	入学式
16日（月）	対面式
17日（火）	避難訓練
18日（水）	寄宿舍歓迎会
27日（金）	PTA 振興会総会

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談

☎ 0120-3882-56

（無料、毎日24時間対応）

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談

（10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。）

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話相談で予約してください。